甲11号証

久保・長江中学校区の学校再編について
保護者説明会

尾道の学校教育をリードする小中一貫教育校

令和５年６月　尾道市教育委員会

本日の内容

１．学校再編案について

２．小中一貫教育校の教育内容について

３．新しい学校の施設について

４．これまでの経緯といただいたご意見
について

１．学校再編案について

小中一貫教育校

（令和７年４月開校　⇒令和９年４月新校舎使用開始）

- 久保小学校
- 長江小学校
- 土堂小学校
- 山波小学校

久保小学校
長江小学校
土堂小学校
の統合校

山波小学校

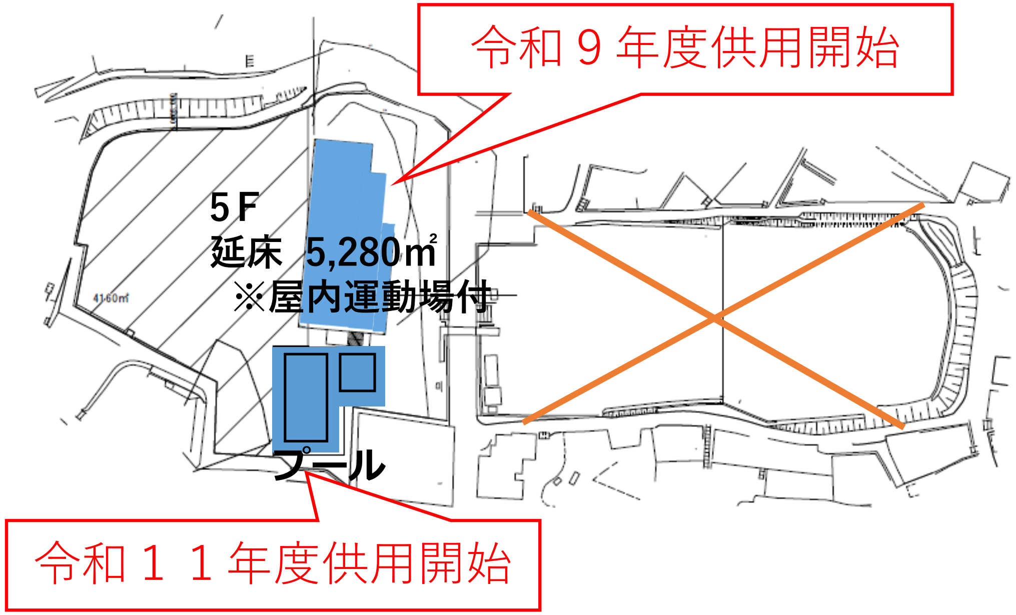
進学

久保中学校
長江中学校
の統合校

1．学校再編案について

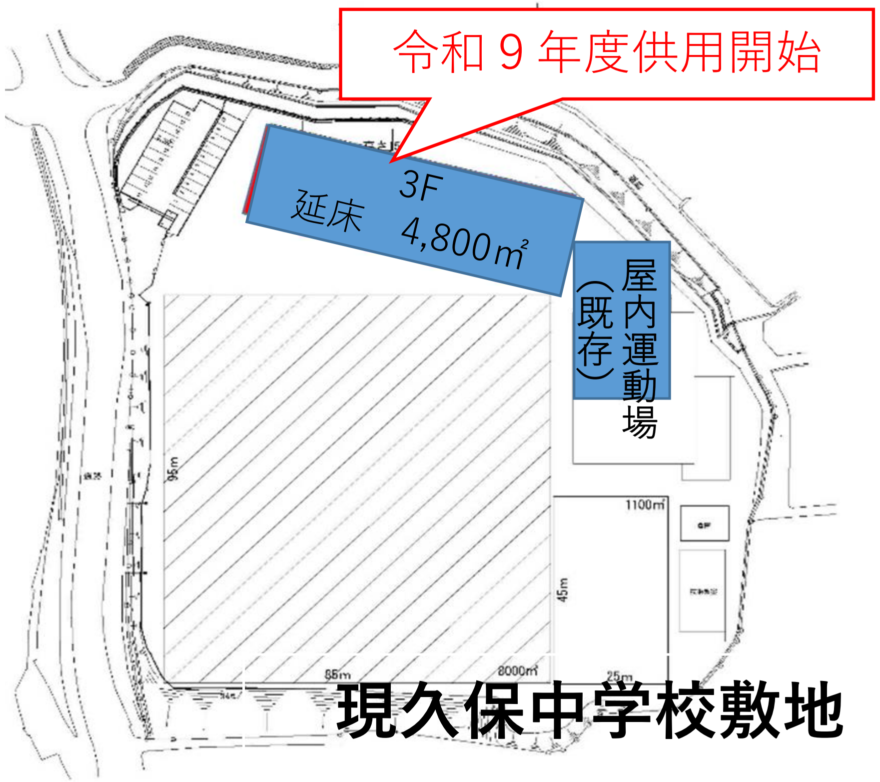
令和７年４月開校　⇒令和９年４月新校舎使用開始

新しい小学校



現長江中学校敷地

新しい中学校



現久保中学校敷地

これまでの取組について

H21～H31（R1） → **久保小学校、長江小学校、土堂小学校の耐震化方針の検討**

各学校ともに現在地での耐震化を断念→中学校を含めた検討を開始

【主な要因】

・立地による工事施工に係る課題
（進入路の狭小、児童が居ながらでの工事が困難）

・改築及び減築が必要な校舎が生じたこと

・土砂災害防止法に基づく警戒区域、特別警戒区域の指定
（新たな校舎が建築可能な場所が限られていた→中学校を含めた検討が必要となった）

R3 → **久保小学校、長江小学校、土堂小学校　仮校舎へ移転**

R3～現在 → **久保・長江中学校区の学校再編の検討**

学区内の児童生徒の推計を考慮し、よりよい教育環境の実現を目的として検討

検討にあたっての考え方

①安全性の確保

公共施設は利用者の安全を考慮し、土砂災害警戒区域、特別警戒区域では新たな施設整備は行わない。

⇒　長江小学校敷地、土堂小学校敷地には新たな施設整備は行わない（敷地内、周囲の大半が土砂災害特別警戒区域）

②校舎の耐久性（建築年数に伴う影響）

（ア）３小学校の校舎は、建築年数が経過しており、耐震化しても今後継続して使用できる年数が多く見込めない。

（イ）大規模改修での延命も文部科学省の示す築８０年を経過している建物であるため困難。**<u>※現在の校舎を耐震補強して使用し続けることは行わない方針</u>**

⇒　久保小校舎（S8建築）、土堂小校舎（S12建築）の継続使用は行わない（築８０年を経過した建物）

③適正な学校規模の確保

尾道市教育委員会は、よりよい教育環境を確保するため、1学年複数学級を掲げている。今後の児童生徒数推計を見込み、1学年複数学級となる学校規模での再編を行う。

⇒　久保小学校、長江小学校、土堂小学校・長江中学校の再編の検討が必要（小学校は１学級規模が継続、中学校は今後１学級規模となる見込み）

１．学校再編案について

小中一貫教育校とは

- それぞれ独立した小学校と中学校
- 小学校と中学校が、目指す子供像を共有し、
  ９年間を通した教育課程を編成
  系統的な教育を行う
- 教育研究の研究主題、生徒指導規程等、学校運営上
  必要な事項の多くが小中共通である

新たな学校で新たな学びを創造し、尾道スタンダードとして市内全体に広げていきます

【知】確かな学力

●高学年への教科担任制の導入により、質の高い授業を行い、学力の向上を目指します。
●英語教育を充実させ、コミュニケーション能力や、言語能力を育成します。
●ＩＣＴ機器を積極的に活用した授業や家庭学習を行い、情報活用能力を育成します。

【徳】豊かな心

●ふるさと学習（おのみち学）の学びを通して、郷土を愛する心を育てます。
●道徳教育や特別活動を充実させ、体験や経験を通して、人を思いやる心を育てます。
●児童が安心して学校生活を送ることができるよう、カウンセリング体制を充実させます。

【体】健やかな体

●運動時間を増やす取り組みを充実させ、体を動かす習慣を定着させます。
●食育や情報モラル教育等を充実させ、望ましい食習慣や基本的な生活習慣の確立を目指し、健康で活力ある児童生徒を育成します。

【信頼】地域に開かれた学校づくり

●新しい小中学校、山波小学校で、9年間の系統的な教育課程を編成し、小中一貫した教育を進めます。
●保護者や地域の力を学校運営に生かす、中学校区が一体となったコミュニティ・スクールを導入し、魅力ある学校の実現を図ります。

小学校・中学校の９年間を見通した、系統的な教育課程による小中一貫教育の実施

1学年複数学級による個別最適化した教育環境の実現

郷土を愛し、心豊かにたくましく生きる子どもの育成

尾道が目指す小中一貫教育

小中一貫教育の導入のねらい

義務教育９年間を連続した教育課程として捉え，児童生徒・学校・地域の実情等を踏まえた具体的な取組内容の質を高めること ※「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引」平成28年12月26日文部科学省参照

○ **目指す子ども像**
郷土を愛し、心豊かにたくましく生きる子ども

○ **15歳の生徒に身に付けさせたい力**
自己を認識し、人生を選択し、表現できる力

○ **育てたい資質・能力**
学んだことを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力、人間性」等
実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」等

新たな学校の教育課程

総合的な学習の時間を中心に「資質・能力」を育成

9年間を連続したカリキュラム	担任制	学年	教育内容	特色
	教科担任制	3年生	総合的な学習の時間	進路実現のガイダンスの充実
		2年生	スクールプライド（学校への愛着や誇り）の醸成	
	移行期間	中学校1年生		
		6年生	地域人材の活用による「ふるさと学習」の推進	高学年における教科担任制の導入
		5年生		
	学級担任制	4年生	節目となる式の実施や職業について考えるキャリア教育の充実	異学年交流による社会性の育成
		3年生		
		2年生	生活科	
		小学校1年生	学びの楽しさ、わかる喜び	

コミュニティ・スクール ／ 小学校専科教員の配置 ／ 小学校英語非常勤講師の配置

ALTの常駐化 ／ 部活動の充実 ／ 学校司書の配置 ／ SSWの常駐化（スクールソーシャルワーカー）

２．小中一貫教育校の教育内容について

２．小中一貫教育校の教育内容について

１）目指す子ども像

２）教育資源

３）教育内容

２．小中一貫教育校の教育内容について

１）目指す子ども像

郷土を愛し、
心豊かにたくましく生きる子ども

２．小中一貫教育校の教育内容について

１）目指す子ども像

15歳を意識し9年間の学びで育てる子ども

○15歳の生徒に身に付けさせたい力

自己を認識し、人生を選択し、表現できる力

２．小中一貫教育校の教育内容について

１）目指す子ども像

15歳を意識し9年間の学びで育てる子ども

〇育てたい資質・能力

学んだことを人生や社会に活かそうとする
「学びに向かう力、人間性」等

実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」

未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」等

２．小中一貫教育校の教育内容について

２）教育資源

歴史から学ぶ

港町尾道の誕生と発展

第1期黄金時代：尾道が年貢米の積出港に

第2期黄金時代：
北前船の寄港地、西国街道や出雲街道による人と物流の交流点に

第3期黄金時代：鉄道開通、銀行設立、市制施行等

２．小中一貫教育校の教育内容について

２）教育資源

文化・産業から学ぶ

○魅力ある歴史文化の継承

- 囲碁文化
- 茶文化
- 石工文化
- 歴史的遺産
- 祭りなどの伝統文化
- ３つの「日本遺産」

等

○第4期黄金時代へ

- 世界とつながるものづくり
- 日本に誇る農林水産業

等

２．小中一貫教育校の教育内容について

２）教育資源

先人から学ぶ

○尾道に誇りを持ち、尾道を愛し、尾道の発展に
　貢献しようとする力

平山角左衛門　三木半左衛門　山口玄洞　等

○自分の信念を持ちやり抜く力
　美術界、文学界の発展に貢献しようとする力

小林和作　林芙美子　等

２．小中一貫教育校の教育内容について

３）教育内容

グローバル × ローカル

×

個別最適な学び × 協働的な学び

による9年間の学びの創造

３）教育内容

「グローバル」な学びの創造

○世界とつながる英語教育やキャリア教育を充実します。

・小学校1年生から外国語活動を導入し、コミュニケーション能力や、言語能力を育成します。

・海外の学校とオンラインによる交流を行い、発信力の向上を目指します。

２．小中一貫教育校の教育内容について

３）教育内容

「グローバル」な学びの創造

○世界とつながる英語教育やキャリア教育を充実します。

・地元企業や事業所等との連携により職業観、勤労観を育成します。

2．小中一貫教育校の教育内容について

3）教育内容

「ローカル」な学びの創造

○ふるさと「尾道」の特色ある伝統や文化を学ぶ「おのみち学」を充実します。

・能、神楽、茶道、太鼓等の教育活動を行い、郷土を愛する心を育てます。
・職場体験学習や進路学習を行い、社会的自立に向けた力を育てます。（中学校）

伝統文化発表会の実施（小学校6年次）

2．小中一貫教育校の教育内容について

3）教育内容

「ローカル」な学びの創造

○学びの「基礎・基本」を大切にした
「モジュール授業」を展開します。
（小学校）

２．小中一貫教育校の教育内容について

３）教育内容

９年間の学びの集大成

○「おのみち学」によるまちづくりへの参画（商工業、観光、農林水産業、教育、医療、福祉等）を通して、15歳の生徒に身に付けさせたい力を育成します。

まちづくり政策の提案発表会の実施
（中学校3年次）

２．小中一貫教育校の教育内容について

尾道の学校教育をリードする小中一貫教育校

○子供たちが切磋琢磨しながら生き生きと学ぶことができる学校

○子供たちの夢の実現や社会的自立に向けた土台作りのできる学校

○郷土を愛する心が育つ学校

３．新しい学校の施設について

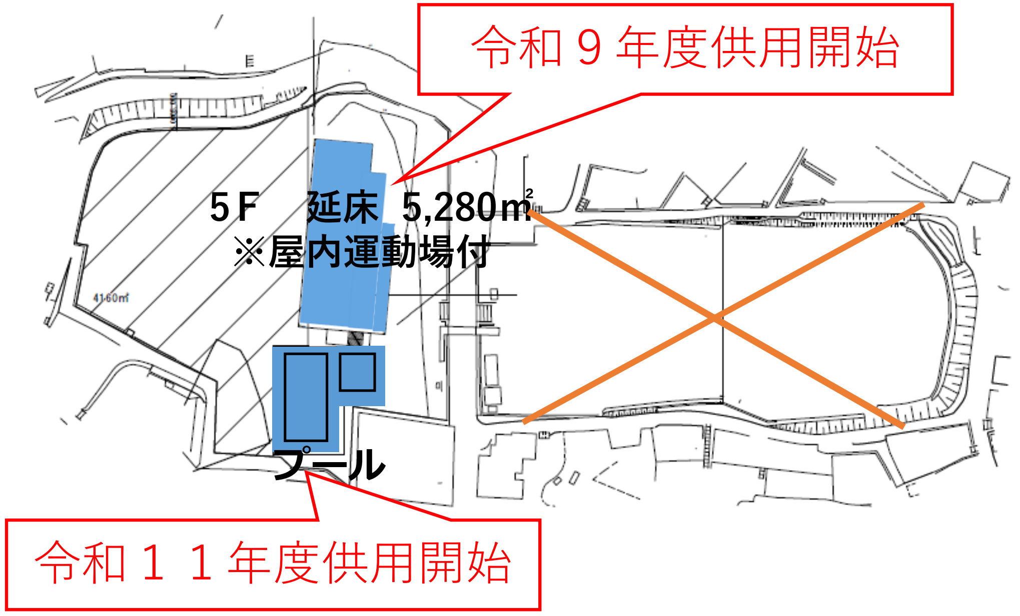
小中一貫教育校

（令和７年４月開校　⇒令和９年４月新校舎使用開始）

３．新しい学校の施設について（平面図）

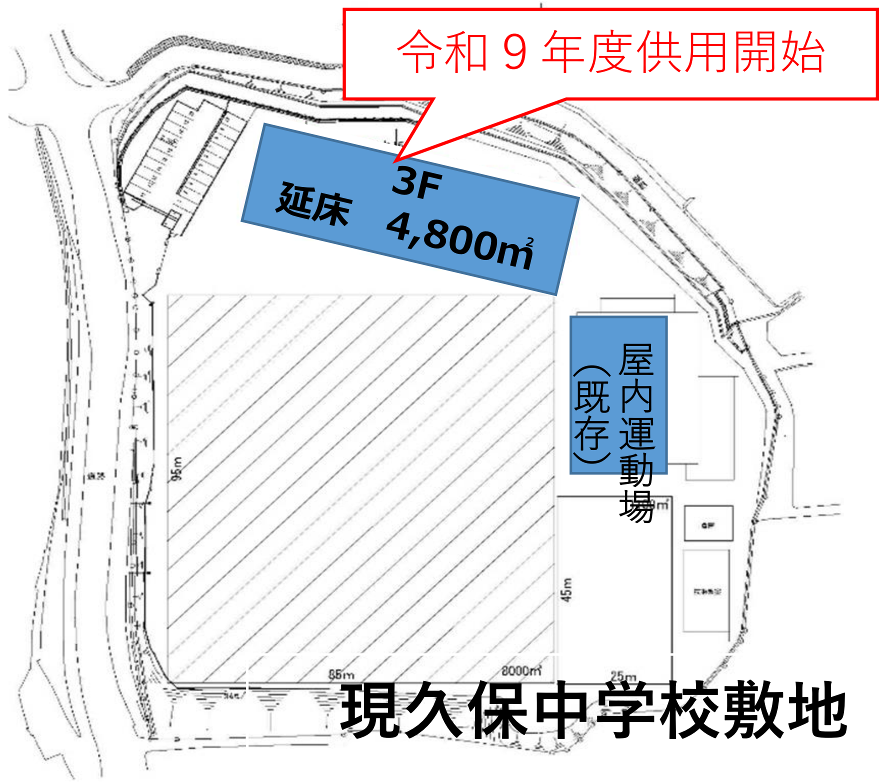
令和７年４月開校　⇒令和９年４月新校舎使用開始

新しい小学校



現長江中学校敷地

新しい中学校



現久保中学校敷地

３．新しい学校の施設について（中学校整備スケジュール）

2中学校統合校（久保中、長江中）

久保中学校敷地内（敷地北側）

大まかな工事の流れ

R８年度末　新校舎完成

R５	R６	R７	R８	R９	R10
実施設計		改築工事		解体工事・外構工事	

R５	R６	R７	R８	R９	R10
現在の中学校校舎へ通学		**久保中学校敷地で統合校スタート**（久保中+久保小仮校舎）		**久保中学校敷地北側の新校舎**へ通学	

R7.4　統合校開校

３．新しい学校の施設について（小学校整備スケジュール）

3小学校統合校（久保小、長江小、土堂小）

長江中学校敷地内（グラウンド敷地）

大まかな工事の流れ

R８年度末　新校舎完成

R５	R６	R７	R８	R９	R１０
実施設計		改築工事		解体（屋体）工事 プール新築工事（R１１供用開始）	

R５	R６	R７	R８	R９	R１０
現在の仮校舎へ通学		**長江中学校敷地で統合校スタート** （長江中+長江小仮校舎）		**長江中学校敷地内　新校舎**へ通学	

R7.4　統合校開校

３．新しい学校の施設について

新しく取り入れる機能（主な例）

中学校施設で本格的に導入

①ロッカースペース（ホームベース）導入による専門科目教室の設置

②ワーキングスペースの設置

③プロジェクター方式の黒板の導入（一部の教室+ワーキングスペース）

３．新しい学校の施設について

中学校　1～３年すべて

小学校　高学年（5.6年）を想定
※中学校への連携

施設イメージと期待される効果

①ロッカースペース（ホームベース）導入による専門科目教室の設置

国語、英語、社会の専門科目教室が設置可

今までにない専科教室の設置

小学校においても教科担任制の授業が充実できる

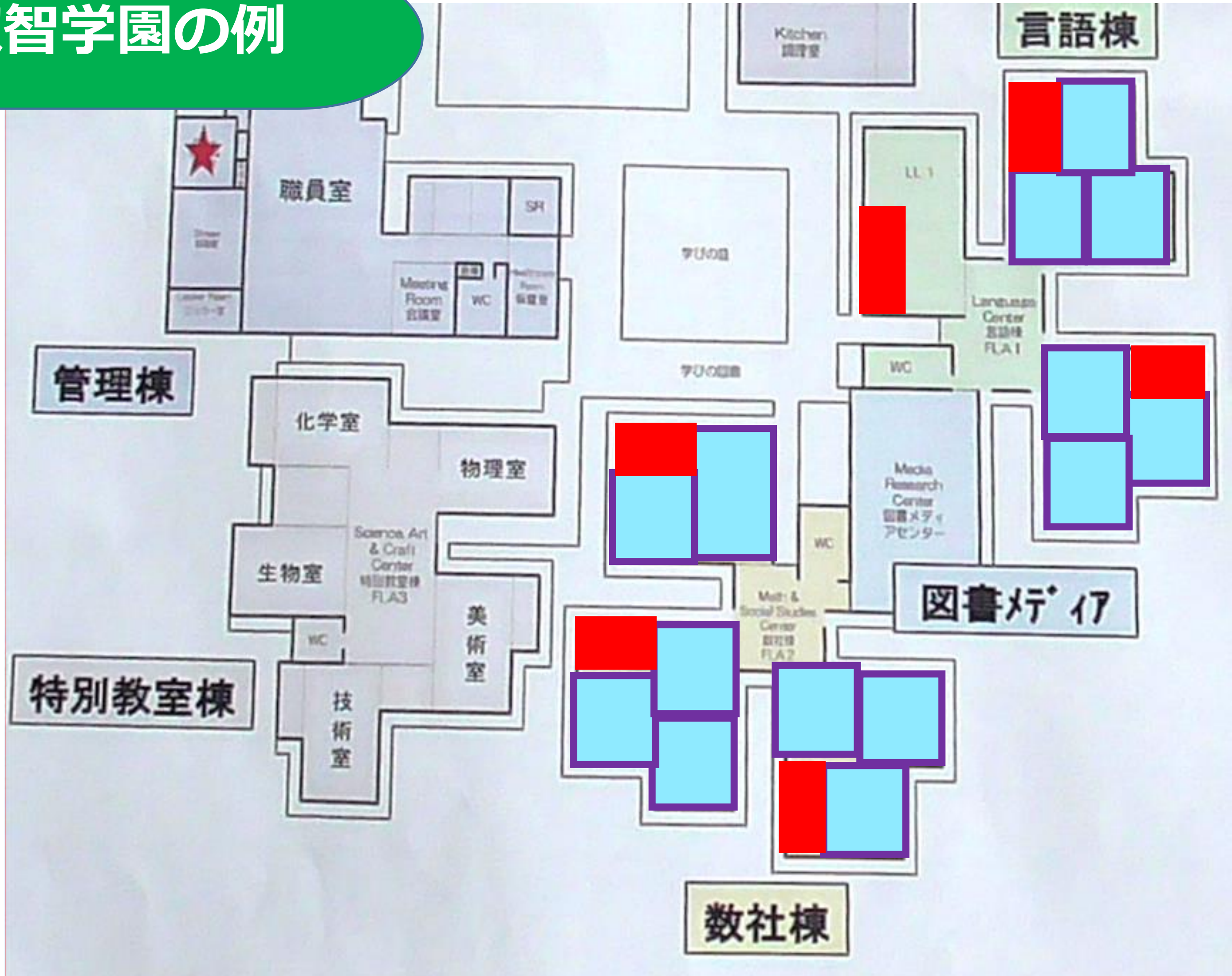
小学校への教科担任制の導入の実践

教室にはロッカーを置かず生徒は荷物をロッカースペースへ収納
→１時間目の授業は時間割教科の教室へ

3．新しい学校の施設について

①ロッカースペース（ホームベース）導入による専門科目教室の設置

参考）叡智学園の例



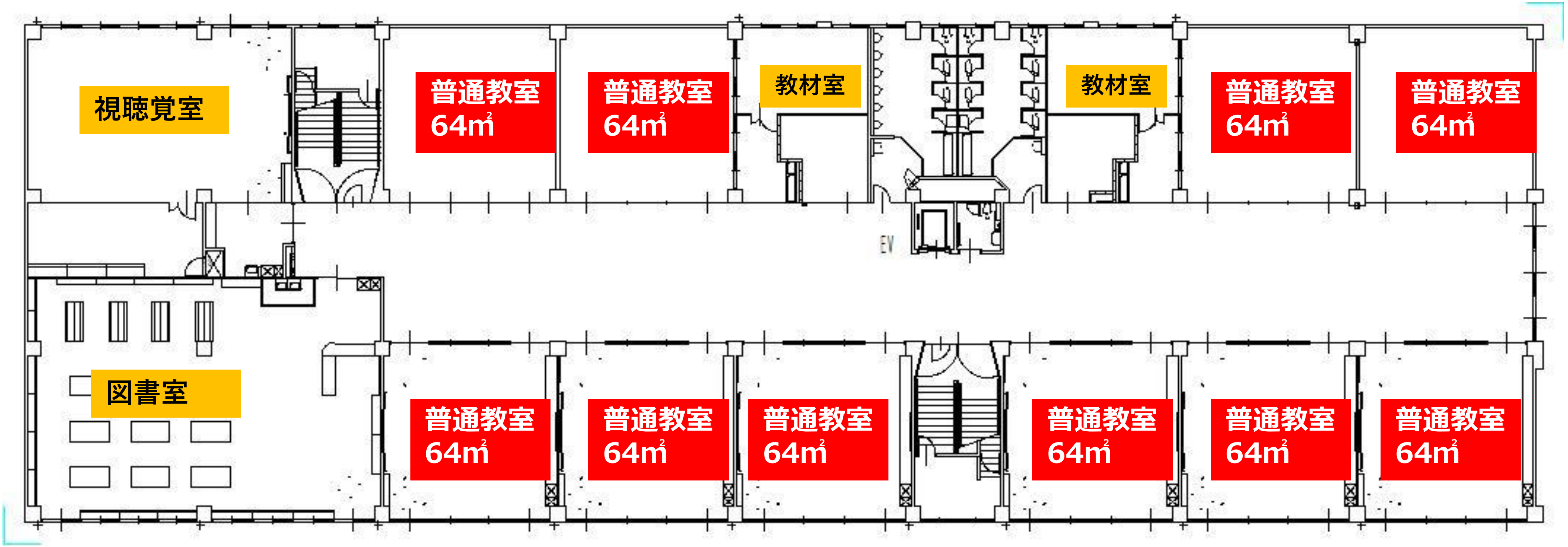
ホームベース
（ロッカースペース）

教室
※時限（教科）ごとに
教室が変わる

３．新しい学校の施設について

①ロッカースペース（ホームベース）導入による専門科目教室の設置

従来型の整備（例）



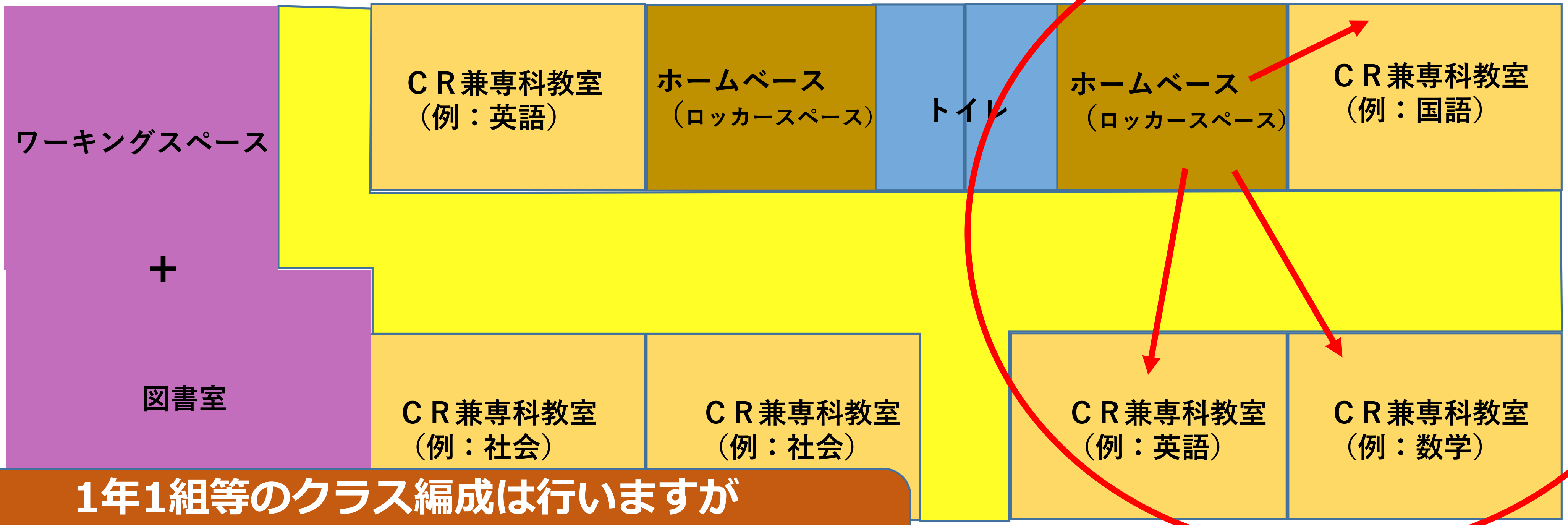
３．新しい学校の施設について

①ロッカースペース（ホームベース）導入による専門科目教室の設置

自分のＨＲは設置せず
荷物は個別ロッカーへ
↓
教室の多様な仕様が可能に！

よりよい教育環境を意識した整備（例）

1学年
3学級規模



1年1組等のクラス編成は行いますが
1年1組の教室を固定しない
朝夕のＨＲは1時限、最終時限の教室にて実施

荷物はＨＢへ → 1時限目の教科教室へ

3．新しい学校の施設について

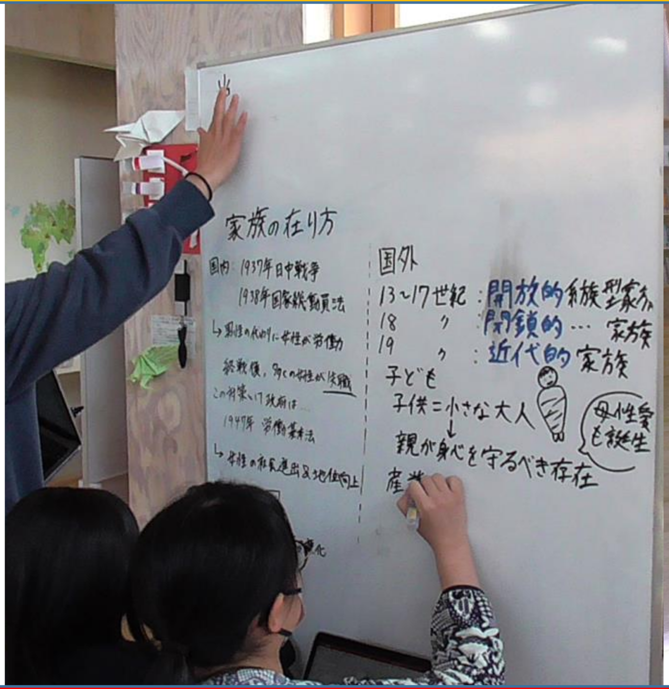
中学校　図書室付近+各教室

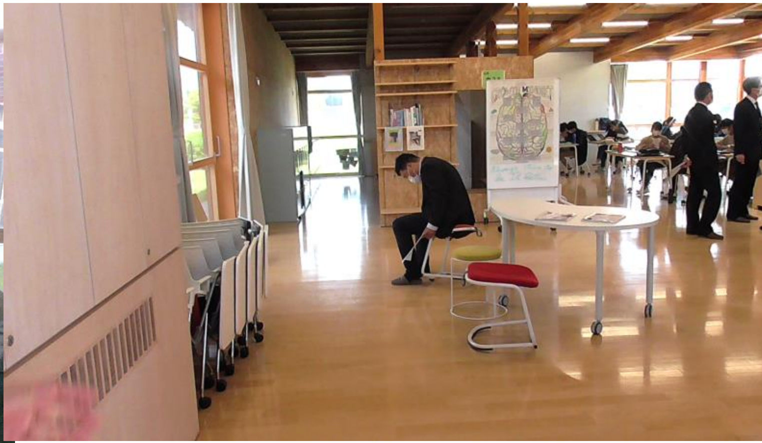
小学校　高学年（5.6年）で１か所

施設イメージと期待される効果

②ワーキングスペースの設置

図書室付近及び各教室の面積を1.5倍にしてスペース創出





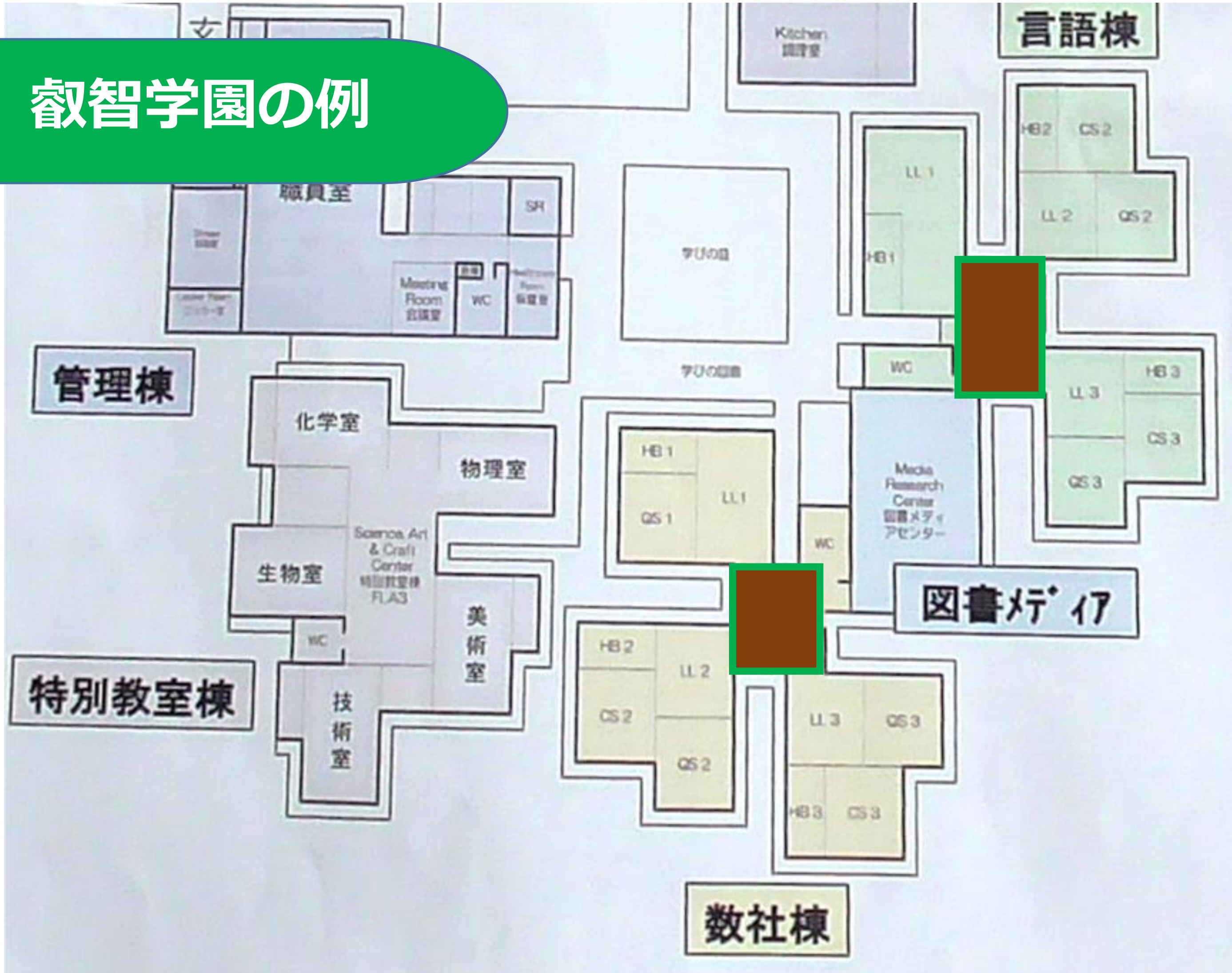
スライド１７
協働的な学びの実践

これからは自分でテーマを設定し課題を探究するスタイルへ！

３．新しい学校の施設について

②ワーキングスペースの設置

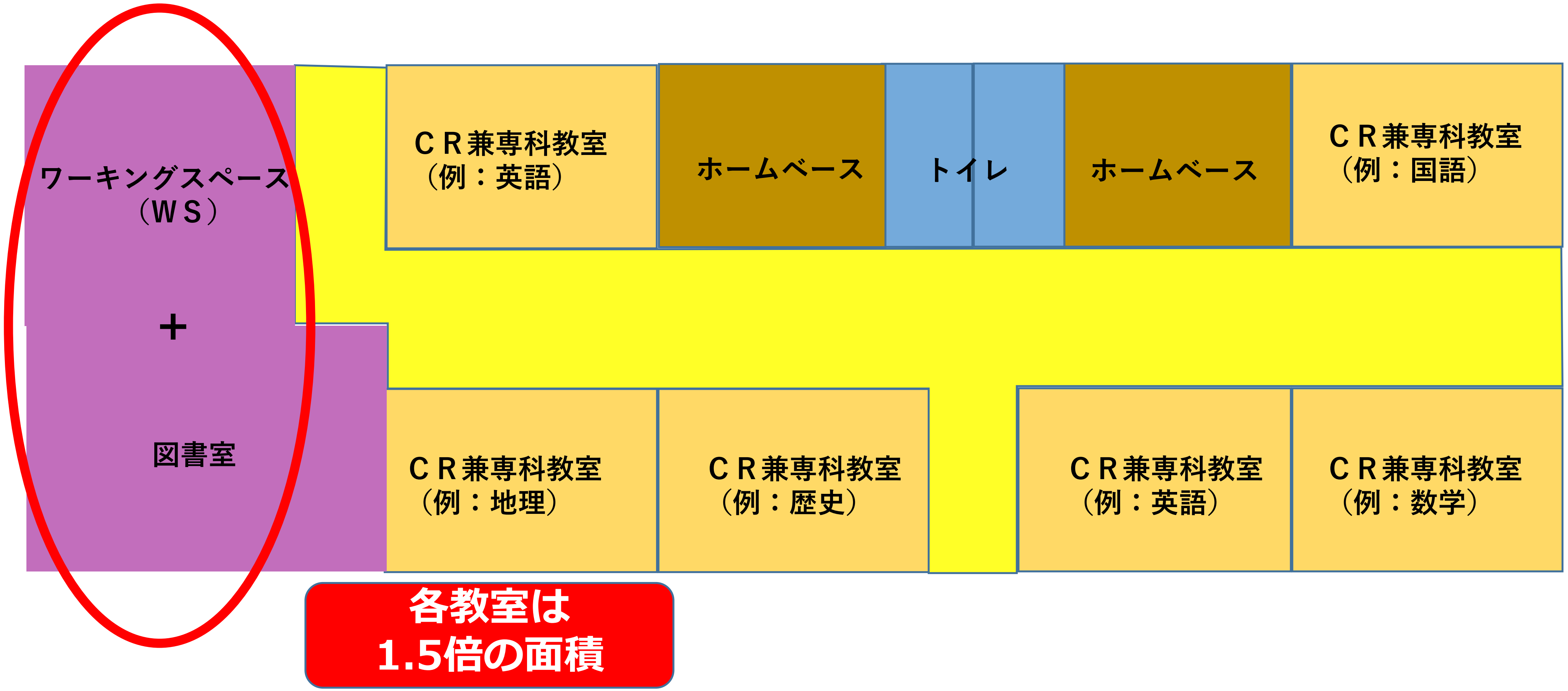
参考）叡智学園の例



ワーキングスペース

３．新しい学校の施設について

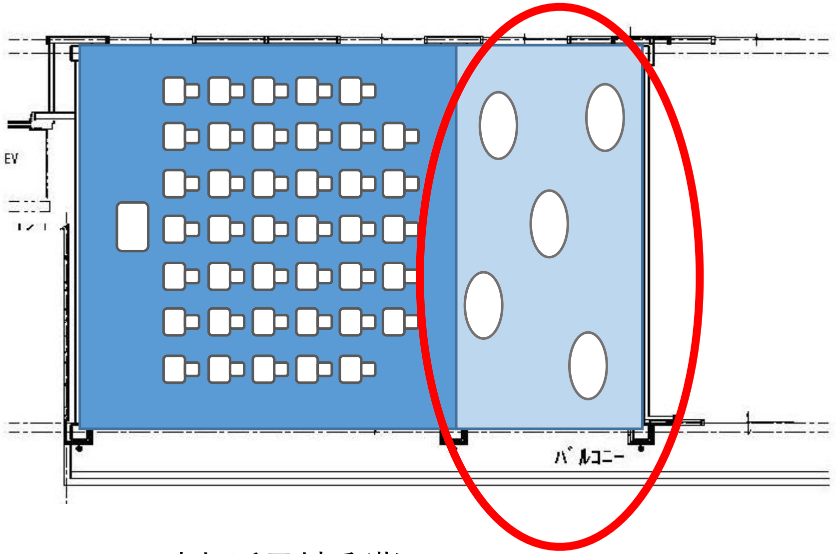
①ロッカースペース（ホームベース）導入による専門科目教室の設置



３．新しい学校の施設について

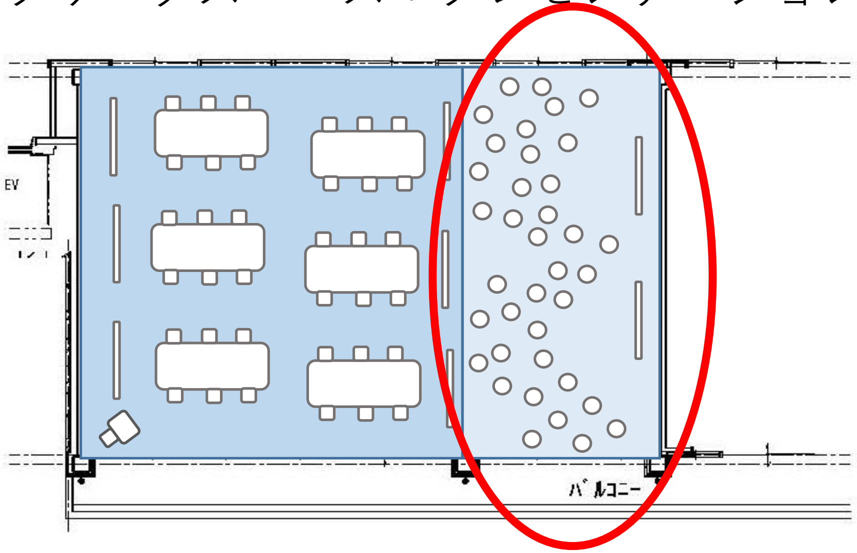
参考）叡智学園の例

講義型授業＋グループワークスペース



対話型授業

グループワークスペース＋プレゼンテーションスペース



静かさ・個人の割合など

大

小

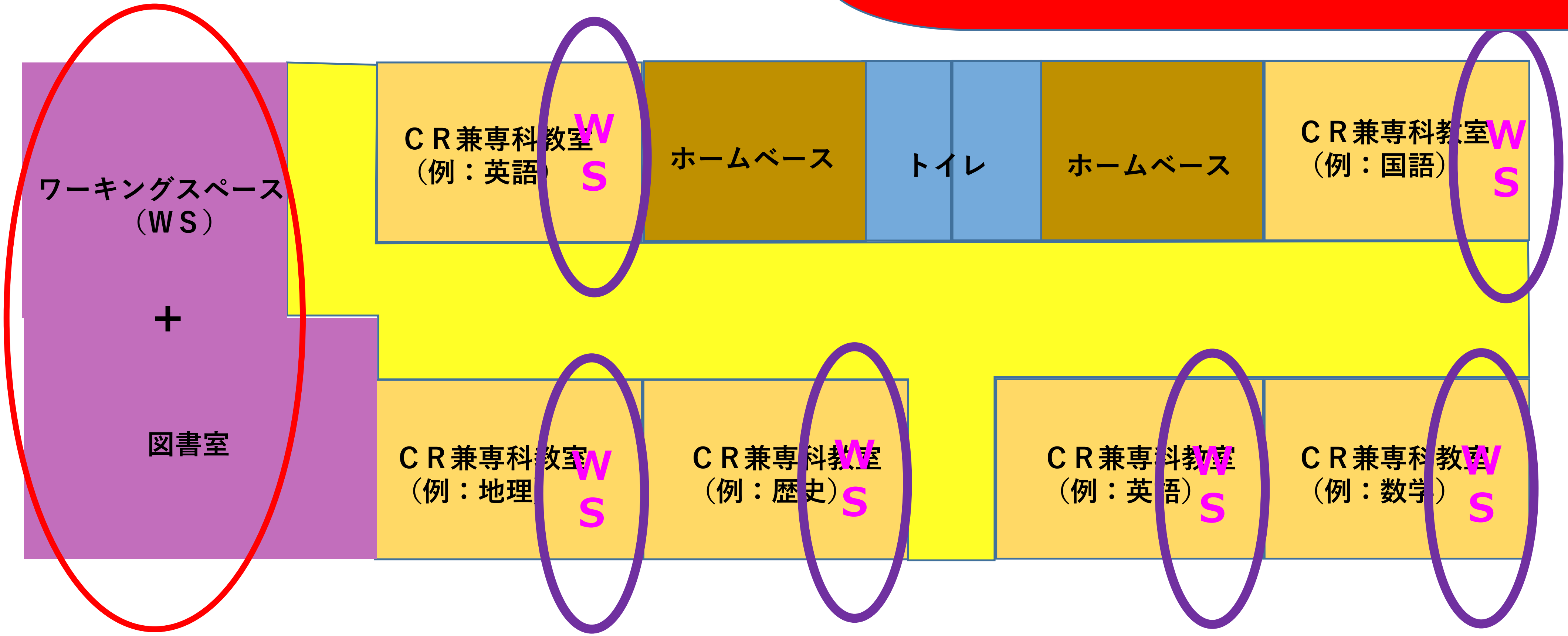
・個別型授業
・講義型授業
・問答型授業
・対話型授業
（アクティブラーニング）

通常教室の1.5倍の大きさ

３．新しい学校の施設について

①ロッカースペース（ホームベース）導入による専門科目教室の設置

多くの場所でグループワーク可能に



３．新しい学校の施設について

中学校
一部の教室+ワーキングスペース

小学校　ワーキングスペース

施設イメージと期待される効果

③プロジェクタ方式の黒板の導入（一部の教室+ワーキングスペース）

ワーキングスペースなどの壁も黒板機能を付加することができる

施設全体のICT化

自分でテーマを設定し課題を探究する授業など
いろいろな授業形態に対応できる

３．新しい学校の施設について

小学校・中学校

その他　　理科室の給排水、ガス設備などは教室の端に・・・
実験台は固定式ではなく、移動できる机にて。

理科室としてだけでなく、少人数教室など他の用途での使用可能となる

教室を複数の用途で使用できる

３．新しい学校の施設について

これまでの従来型の
良さも活かしつつ整備

小学校は従来型が基本

中学校施設で本格的に導入

高学年でこれら機能に触れ中学
校生活に移行できるよう工夫

①ロッカースペース（ホームベース）導入による専門科目教室の設置

②ワーキングスペースの設置

③プロジェクター方式の黒板の導入（一部の教室+ワーキングスペース）

４．これまでの経緯といただいたご意見について

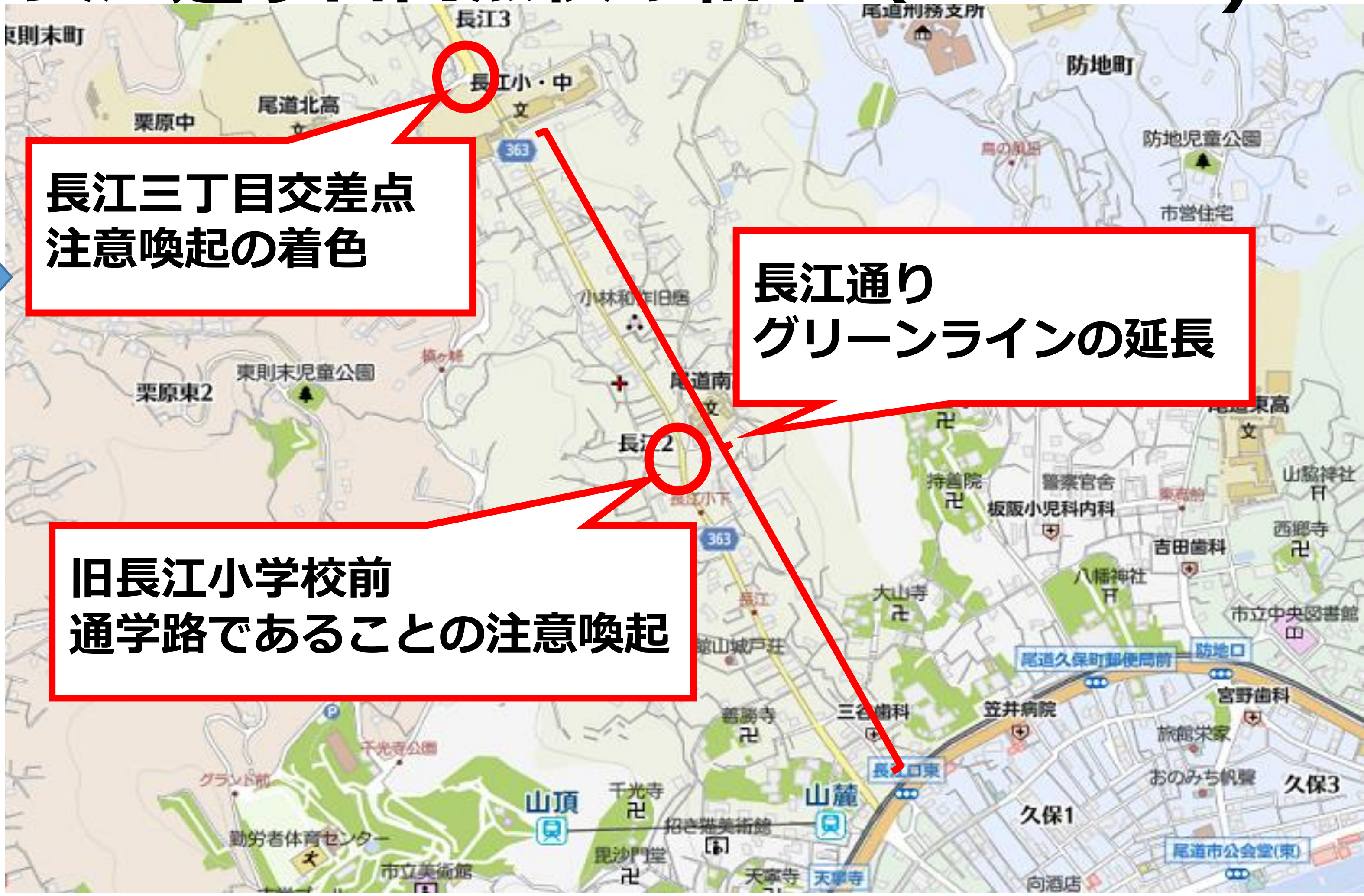
- 令和4年11月22日　　第1回議員説明会・育友会ＰＴＡ役員対象説明会
- 令和4年11月29日~　保護者対象オンライン説明会
- 令和4年12月26日　　育友会・ＰＴＡ役員との第1回意見交換会
- 令和5年　1月24日　　育友会・ＰＴＡ役員との第2回意見交換会
- 令和5年　2月　5日　　第1回保護者説明会
- 令和5年　2月15日　　第2回議員説明会
- 令和5年　2月20日　　育友会・ＰＴＡ役員との第３回意見交換会
- 令和5年　3月25日~　第1回地域説明会（小学校区ごとに開催）
- 令和5年　5月15日　　育友会・ＰＴＡ役員との第4回意見交換会
- 令和5年　6月　2日　　第2回保護者説明会
- 令和5年　6月　3日~　第2回地域説明会（小学校区ごとに開催）
- 令和5年　6月　7日　　第3回議員説明会

４．これまでの経緯といただいたご意見について

○長江通りの
安全安心の確保

○路線バスを
利用した通学支援
（新しい小学校）

長江通り合同点検の結果（R5.4.20）



４．これまでの経緯といただいたご意見について

〇給食について

・新たに高須地区に2,500食規模の給食調理場を整備する基本実施設計に着手
⇒そのドライシステム給食調理場の完成により、関係校へ給食を配送する予定

・食育については、新調理場内の見学ができるスペースを整備するなど、児童生徒の食育に寄与した取組を進める

◯統合時の配慮について

・前年度から児童・生徒間の交流を実施

・部活動の種目の維持・前年度からの合同練習の実施

・各小学校・各中学校から教員を配置

ありがとうございました。
この後、質疑応答を行います。